

議会だより

さとしょう

No.66
2011.10.31



岡山県 里庄町議会



楽しい秋まつり(高岡神社)

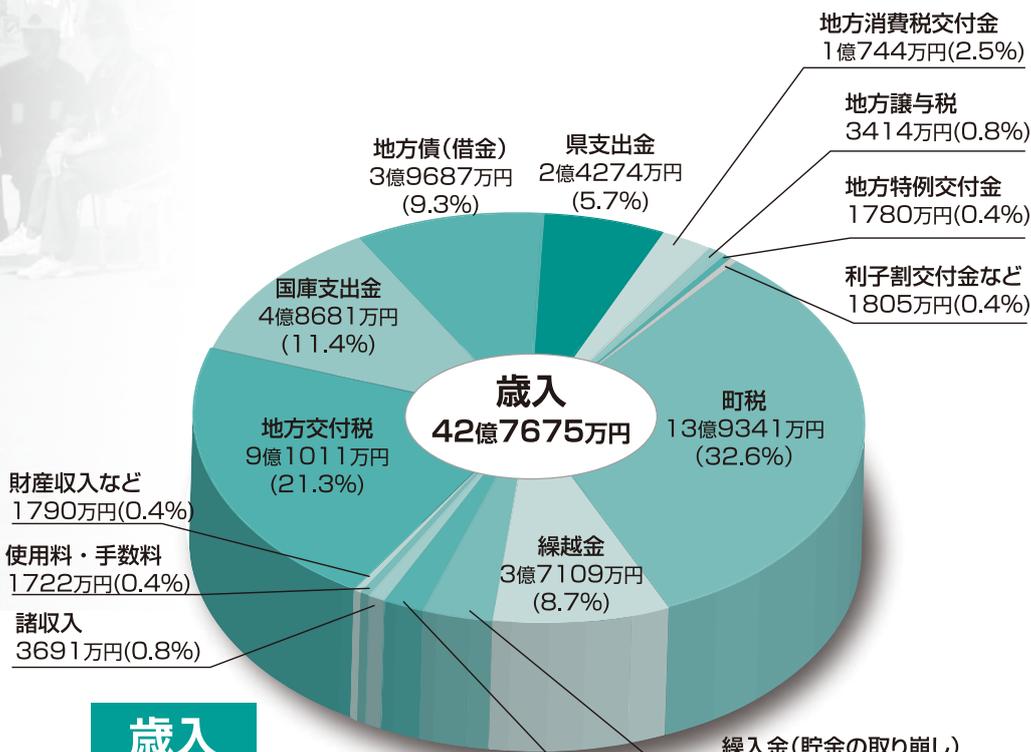
- 平成22年度決算 賛成多数で認定 …………… (2)
- 単年度の収支はどうなっている (質疑より) …………… (5)
- 要援護者マップ作成 (補正予算)…………… (9)
- 町政を問う (6人が登壇)…………… (12)
- シリーズいきいきサロン紹介 (GC南分館)…………… (18)

定例会

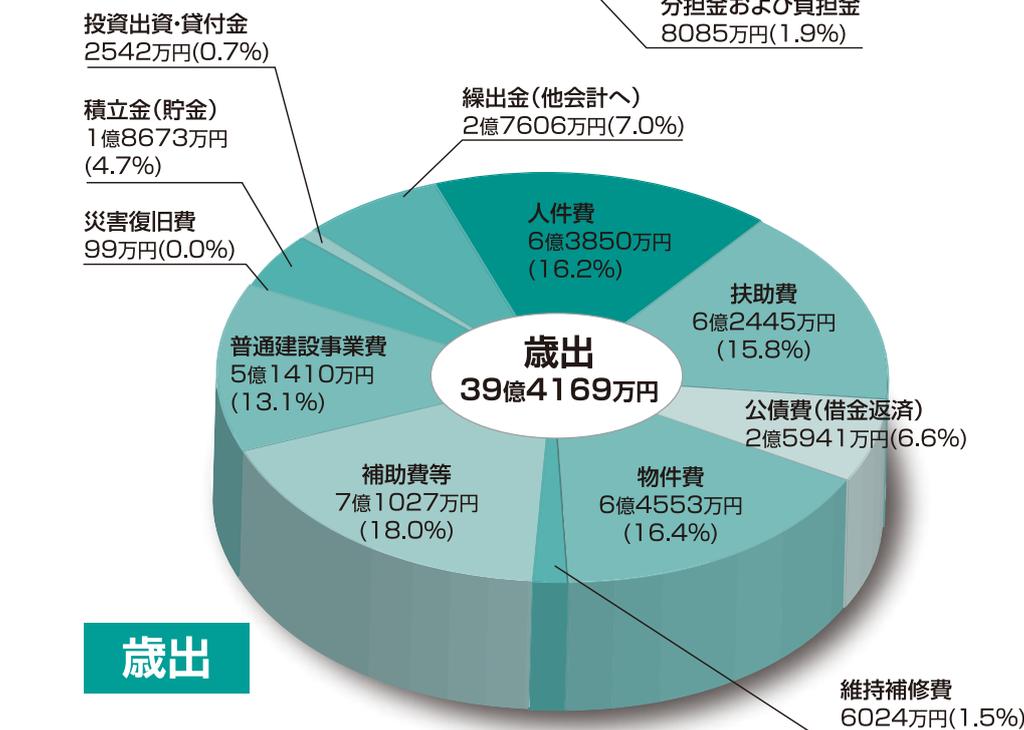
賛成 7 : 2 反対

成果を認定!

特別会計決算は全会一致で認定



歳入



歳出

普通会計：一般会計 + 育英奨学資金給与特別会計

平成23年度第6回里庄町議会定例会は、9月2日から16日までの会期で開かれました。議案は平成22年度会計決算の認定9件、平成23年度の補正予算が7件、町条例の制定2件、一部改正2件、廃止1件、町道路線の認定1件、工事請負契約の締結1件、人事案件1件、合計24件が上程され、すべて原案どおり可決しました。また、総務文教委員会に付託されていた請願1件は、再び閉会中の継続審査となりました。なお、一般質問では6人の議員が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

22年度
決算

一般会計決算

賛成多数で

監査委員 審査意見より

経済の不透明な状況と雇用情勢の停滞などにより、今後も収入未済額の増加が予測され、自主財源の確保と税負担の公平性の見地からも滞納整理の適確な実施と未納発生初期における迅速な対応等が引き続き要求される。

今後においても、消費的経費の削減に努め、限られた財源の優先順位を明確にして効率的かつ効果的な事業運営と、創意と工夫による行財政改革を一層推進するとともに、健全財政の堅持を図りながら住民福祉の向上に努められたい。

消防操法訓練大会

ここが賛成！

確実に行政効果は上がっている

辻田勝之議員

子供を産み、安心して育てる環境整備やお年寄りの人が楽しく安心して暮らせるまちづくりの施策は、十分な取り組みがなされている。

健康づくりの推進と福祉サービスの向上は、継続して取り組んでいる。

生活基盤の整備充実は、財政とのバランスを見ながら計画的な整備ができています。

平成22年度各会計の歳入歳出予算は、適正に執行され、確実に行政効果は上がっている。

ここが反対！

多額の不用額がある

高田卓司議員

里庄駅プラットフォームの改修は段差が少なくなっただけ、多額の不用額は、福祉や生活関連事業に使うべき、学校の校庭に個人所有の土地があり、年間110万円もの借地料を払っている。

不公平な職員採用

岡本雅道議員

不透明で不公平な職員採用、道路の未登記問題は進展していない。

JR工事の全額を里庄町が負担、中学校卒業までの医療費無料化が未実施。

三寺池の改修工事は、民意が織り込まれないうまま執行された。

平成22年度の 主な事業内容

町政施行60周年事業

- ・町政施行60周年記念式典の開催
- ・町勢要覧の作成
- ・分館公会堂にテレビ購入の補助

重点施策として行った事業

- ・229号線第3工区、道路新設改良事業や生活道路の維持補修事業
- ・防犯灯やガードレール、カーブミラー等の設置
- ・緊急地震速報や弾道ミサイル等の緊急情報を受信する全国瞬時警報システム受信機を整備
- ・ため池補強工事と水路等維持修繕事業
- ・縁結び事業の開催
- ・医療費の無料化を小学校卒業までに引き上げ
- ・幼稚園及び小学校、中学校に生活支援員を配置
- ・公営墓地整備基本計画の作成と調査
- ・住宅用太陽光発電システム設置費の補助事業
- ・小・中学校3校に3名の英語指導外国人を配置
- ・各種検診、健康相談、健康教育、妊婦健康診査
- ・乳幼児の健康教育、訪問指導等
- ・不妊治療の助成事業



科学フェスティバル

臨時交付金で行った事業

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業

- ・里庄駅ホームかさ上げ工事

地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業

- ・東小学校のシャワー室の設置、西小学校のプールサイド改修工事
- ・文化ホール外壁改修工事
- ・東・西幼稚園の空調設備設置工事の設計監理
- ・町道6路線の改良工事

住民生活に光をそそぐ交付金事業

- ・里庄図書館へ19型の液晶テレビ4台設置
- ・中央公民館第3会議室の空調設備2台を増設

平成22年度 会計別決算状況



新設されたカーブミラー

会計区分		歳入	歳出	差引
一般会計		42億8249万円	39億4794万円	3億3455万円
特別会計	国民健康保険	12億3938万円	10億9469万円	1億4469万円
	育英奨学資金給与	117万円	67万円	50万円
	老人保健	454万円	454万円	0円
	介護老人保健施設	4億4831万円	4億69万円	4762万円
	介護保険	8億2799万円	8億1023万円	1776万円
後期高齢者医療		1億2184万円	1億1878万円	306万円

※差引の額は翌年度繰越金となります。

公営企業会計(税抜)		収入	支出	差引
水道事業	収益的収支	2億7205万円	2億5808万円	1396万円
	資本的収支	411万円	1億584万円	△1億173万円
公共下水道事業	収益的収支	2億21万円	1億8482万円	1539万円
	資本的収支	4億887万円	4億5175万円	△4288万円

※資本的収支の不足額は内部留保資金により補てんしました。

質 疑

▼単年度の収支はどうなっている
▼町税の未納、滞納繰越が6768万円もある

平成22年度一般会計決算から3人が総括質疑を行いました。

一般会計決算の認定

単年度の収支はどうなっている

眞野議員 3億円以上が余っているように感じるが、単年度での収支はどうなっているか。プラスなのかマイナスなのか。

総務課長 歳入が37億5

566万円。歳出が37億4447万9000円。

差引き1118万円のプラスである。

眞野議員 臨時財政対策債は、100%見てもらえるとの説明を受けてい

る。今までのように入り、その確認はどうしているのか。

町長 将来100%充当するといっているが、不安はある。

総務課長 委員会で資料を提出する。

眞野議員 施策や事業の中

には、国や県からの費用でスタートし、町の持ち出し100%となったものもある。中、長期的



よーい、ドンッ!!

な視点で施策を厳選する必要があるので。

町長 予算を組むとき、事業を検討し、見直しをやっている。議員とともに事業の見直しを行うことは難しい。

未納、滞納繰越が6768万円ある

岡本議員 町税等の未納額と滞納繰越分が6768万円もある。

税の公平性から、収納率向上に向けての施策は、**町民課参事** 未納者に督促を送付し、納付のない者は、預貯金、不動産等について調査を行う。

時効中断については、差押え、交付要求、分納等の措置をとっている。

悪質な滞納者については、整理組合と共同で徴収に当たっている。

※裁判所等に配当金を要求。

岡本議員 第2次振興計画に基づき目標を達成した事業は何か。

企画商工課長 つばきの丘運動公園や、下水道事業、町道229号線など大きな事業は目標を達成している。

岡本議員 縁結び事業の効果はどうだったか。

企画商工課長 矢掛町の事業で6組、3市2町の事業で3組、笠岡と登録者を共有している結婚相談支援センターで3組の方が結婚している。

岡本議員 幼・小・中学校が実施している廃品回収等、町の分別収集の年間収益は、いくらなのか。

町民課長 廃品回収は、合計で61万7360円。分別収集は、173万4699円である。

岡本議員 美しい森を維持管理することによる経済効果は、どれだけあるのか。

農林建設課長 厳密には数字で言いあらわすことができない。

費用効果上がるように、広報さとしや笠岡放送等でPR活動を行った。

PRは継続していく。



里庄駅のプラットホーム

岡本議員 嘱託職員の賃金の設定に基準があるのか。わかりやすい内部規則を公表してもらいたい。
町長 嘱託職員は、15万円からスタートして、年々少しずつ上がっている。上限は二十数万円。里庄の場合は特別にボーナスも出している。

岡本議員 駅ホームの利便性向上化事業によってどのような効果が出たか。
理事 効果の検証はしていないが、事故防止、利便性の向上等で貢献している。

各科目の不用額を減らし 不足する部署に回せ

高田議員 各款で不用額が多いのは、なぜか。

不用額の大きい費目から他の費目に振り向けられなかったか。

補正額以上に不用額を生じている科目もある。

委託料、需用費、負担金など、経常経費にも不用額が多い。

予算が非常に甘いのでは。

大体見当がつく12月ぐらいに減額補正すれば、他の部署で使える。

町長 必要以上に予算をつけるなど指摘し、トータルで不用額は年々減っている。

努力の結果もある。必要だと思つて補正したが、事情により執行できなくなったものもある。

経常的経費、特に委託費については、必ず見直すように徐々に変えている。

業者についても、できるだけ競争が働くようにと指導はしている。

委員会は全会一致で認定

総務文教委員会に付託された平成22年度の会計決算の認定9議案は、建設福祉委員会の協力のもと、関係当局者の説明を聴取し、慎重に審査を行いました。

その結果、それぞれの決算について適正、妥当と認め、全会一致で原案を認定しました。

町の借金と貯金(平成22年度の状況)

平成22年度借金額 5億3316万円

基金(これまでの貯金総額) 34億495万円

財政調整基金 8億524万円

減債基金 2億5197万円

開発基金 11億3924万円

いきいき里庄基金 1億円

地域振興基金 5846万円

ふるさと保全基金 6600万円

文化振興基金 5億4413万円

スポーツ振興基金 1億100万円

教育施設整備改修基金 1億7579万円

土地開発基金 1億302万円

環境整美基金 5000万円

古山基金 1008万円

借入金(元金)返済額 3億2873万円

一般会計 2億804万円

水道事業会計 1784万円

下水道事業会計 1億285万円

起債残高(今までの借金残高)※ 66億5504万円

一般会計 33億1190万円

水道事業会計 2億4176万円

下水道事業会計 31億137万円

※うち17億2341万円は、元利償還金の100%が地方交付税に算入されます。

里見229号線第3工区 工事請負契約

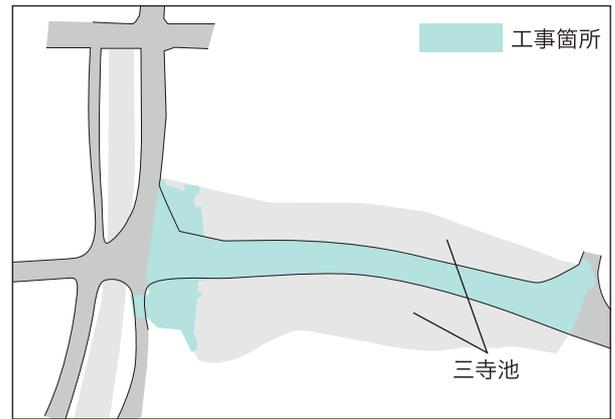
7401万円で落札!
(株)荒木組(81.49%)

工事箇所は町道里見229号線第3工区、役場南の三寺池内及びその西側の現道接続部です。工事内容は、補強土壁の天場までの完成と三寺池内河川堤防部のブロック積み擁壁の施工です。

入札参加業者は9社で、9月6日に入札を実施し、予定価格に対する落札率は81・49%となりました。

工事の完成期限は平成24年3月31日です。

(契約締結を全会一致で議決)



229号線工事箇所



完成が待たれる 229号線

岡本議員 前回、三寺池の地盤改良工事の入札結果は、8社のうち6社が最低限価格を下回り、予定価格の82%でも失格となった。この度の入札結果では81・49%で落札されている。最低限価格の設定の根拠をたずねる。難易度による設定があるなら、地盤改良工事と補強土壁工事はどちらが高いのか。

町長 最低限価格については、工事内容や難易度、業者を含めて検討しているが、具体的には言えない。
副町長 指名委員会を担当しているが、最低限価格については、立場上関知することではない。町長が担当課と協議して決めている。
理事 補強土壁工事のほうが難易度は高い。コスト的にも費用がかかる。

落札の最低限価格の根拠は

平野議員 入札に町長が手を出していいのか。他市町では、首長は入札に入ってはいけないと聞いているが、どうなのか。
町長 最低限価格については責任を持ってやっている。

入札に町長が手を出してよいのか



子ども御輿(高岡)

傍聴に来ませんか

本会議は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。自分の選んだ議員の活動や町の方針、考えを知ることができる場です。

詳しくは、議会事務局までお問合せください。

議会会議録は里庄町の

ホームページからご覧になれます。

<http://www.gijiroku.net/town/satosho/>



町道路線の認定

建設福祉委員会で審議

委員会に付託された町道路線を認定するにあたり、委員会を9月13日に開催しました。

道路は、昭和55年から60年ごろにかけて開発された団地内共有名義の私道です。

現地調査を行い、担当課である農林建設課から説明を受けた後、慎重に

審議を行いました。

道路の勾配、法面の雑草管理などの問題はあるものの、全会一致で町道に認定すべきとの結果になりました。

(全会一致で認定)



町条例

里見川荘医師(施設長)の給与条例の改正

平成23年10月1日から里見川荘の施設長が替わります。そのための改正です。

暴力団排除の条例の制定

平成23年4月1日に岡山県暴力団排除条例が施行されています。

各市町村においても条例を制定し、県下一体となつて暴力団排除を推進するものです。

犯罪被害者等支援の条例の制定

犯罪被害者等が再度平穏な日常生活を営むことができるまでの間、途切れることなく支援を行うための条例です。

(すべて全会一致で議決)

人事

教育委員会委員に再任されました。

里庄町大字新庄

1290番地

才野 晋

(全会一致で同意)



高齢者運動会

教科書採択に関する請願書

再び閉会中の継続審査に

審査の経過報告

総務文教委員会に付託され、閉会中の継続審査となっていた「教科書採択に関する請願書」は、8月15日に委員会を開催し、慎重に審査を行いました。

請願の趣旨についておおむね理解はできるものの、添付されている教科書チェックポイントの内容が判断しがたく、審査に時間を要するとの理由で再び、閉会中の継続審査となりました。



はっけよい、のこった!!

補正

▼むつみ会館の改修工事 ▼要援護者マップ

補正予算では一般会計から3人、介護老人保健施設特別会計から2人が質疑を行いました。

むつみ会館の

改修工事と備品購入

分館要望の修繕工事

(500万円増)

むつみ会館の壁を撤去し、床をフローリングに張りかえる改修工事に107万3000円。
エアコン、電磁調理器具、発達障害者用の指導用具等を購入するために113万5000円。

発達障害児を対象に専門的アドバイスを行う指導員謝礼に20万円。
岡山県地域支え合い体

制づくり事業として補助されることになってい

分館からの要望が多いため、舗装等修繕工事を増額します。
500万円を追加し、合計3522万3000円となります。

要援護者マップ作成

災害時に支援を必要とする者の台帳を整備し、要援護者マップを作成するため、システム購入費に465万1000円。

岡山県地域支え合い体制づくり事業として補助されることになってい

消防団員等公務災害補償 共済掛金アップ

東日本大震災で被災した消防団員等の公務災害補償のため、消防団員等公務災害補償共済掛金が、本年度に限り、増額とな

りました。
追加の補正額は、61万1000円となり、財源は地方交付税で措置されます。

23年度 9月補正の結果

会計名	補正後の金額	補正額
一般会計	41億5458万円	2億3254万円
国民健康保険特別	12億1793万円	1億1964万円
介護老人保健施設特別	4億1429万円	3131万円
介護保険特別	9億458万円	716万円
後期高齢者医療特別	1億2712万円	18万円
水道事業会計	4億566万円	15万円
公共下水道事業	8億981万円	△33万円

(すべて全会一致で議決)



操作、始め!

一般会計補正予算

質疑

マコモタケだけでなく
既存農業の振興策を

仁科議員 ①里庄まこもたけののぼり旗50本とリーフレット1000部の内容と使いかたを尋ねる。

②今回の38万9000円を加えた耕作放棄地再生事業の総額及び町費は、それぞれ幾らか。

③今後の支出見込みを加えるといくらか。

④マコモタケだけに埋没するのではなく、今までの農業の延長線での振興策も考えるべき。

企画商工課長 ①のぼり旗は、「里庄まこもたけ」と印刷し、農協の直売所や飲食店などで、提供期間に設置する。

リーフレットの内容はマコモタケの説明、取り組みの理由、生産者の募

集、食べられる店の紹介など。配布先は、町内の公共施設や笠岡の道の駅、取り扱い飲食店など。

農林建設課参事 ②事業費総額は904万円。うち町費は651万円。

③今後、農機具保管庫と作業研修用のプレハブの建設を考えている。

事業費総額は1238万円。うち町費は786万円となる見込み。

町長 ④町としては、まず荒廃地をもとに戻すことに重点を置いている。

仁科議員 500万円の舗装等修繕工事費追加は、どの地域からどのような要望が出ているのか。

また、採択基準は。



のぼり旗

農林建設課長 分館からの要望箇所が増加したほか、緊急の修繕箇所が数件発生した。

分館の要望は、申請書と現地の確認を行い、必要性や緊急性を検討している。

仁科議員 給与費総額は減少しているにもかかわらず、時間外手当は179万円の増額となっている。この補正の理由、内容は。

町民課長 町民課では、窓口業務を優先して行い、また外での作業も不定期にあり、事務を勤務時間内に終えることができない。

公営墓地業務や法改正に伴う子ども手当事務、入管法改正に伴う外国人の住民基本台帳登録事務の準備など、今後事務量の増大が見込まれる。

嘱託職員で支障はないのか

岡本議員 ①農業総務費の人事異動による補正の内容をたずねる。

②一般職員から嘱託職員に移行して、業務に支障は出ないのか。

③中学校の、給食臨時人夫賃金118万4000円の補正理由は。

農林建設課参事 ①一般職員2名が他の課へ異動し、課長補佐職と嘱託職員の2名が入ってきた。

②与えられたメンバーで共有の意識を持ち業務にあたる。支障があれば協議していく。

教委事務局長 ③校務員の病気休職に伴うものがあるが、8月31日で退職している。給食職員の新たな採用は考えていない。



ムカデ競争

基金積立額の決め方は

高田議員 繰越金全額が

補正予算書に上がってきて、数字的にはわかりやすくなった。考え方が変わったのか。

町長 わかりにくいとい

うことで、繰越分を全て基金に積み、補正があった場合、関係の基金から取り崩す形にした。

高田議員 人事異動によ

り、総務管理費で給料が何百万円も増えているが、**総務課長** 岡山県と人事交流を行っている。

4月に、1人帰任し2人出向してきている。総務課で1人の増である。

高田議員 財産管理の中

の積立金で、財政調整基金の約8000万円と開発基金の約1億2000万円の金額は、どういう決め方をしているのか。

副町長 財政調整基金は

いつでも取り崩して一般財源として使え、また、開発基金は、下水道、営墓地等に係る経費として積み立てている。

高田議員 一般会計給与

費総額の明細で、人事異動に伴う減額200万円はどういうことか。

また休職に伴う減額分は、どういうことか。

総務課長 減額200万円は、里見川荘(特別会計)への異動に伴うもの。

マイナスの129万7000円は、育休に伴うもの。

介護老人保健施設特別会計



チームワークは完璧!

人件費増減の内訳は

岡本議員 人件費の増減

中、社会保険等の減額76万5000円と賃金の減額471万3000円は、嘱託の退職によるものか。このたびは医師(施設長)の変更もある。

特に共済費に関して、内訳の説明を。

副町長 人件費の増減は、

10月で替わる新旧施設長の増減分、嘱託から正規への1名の入れ替わりに伴う分、それに7月末に

退職した嘱託1名の減額分。

前施設長には期末手当が出ていた。

共済費のうち社会保険等の減額は嘱託に係るもの。施設長は、75歳以上で、共済費等は一切ない。

特に共済費に関して、内訳の説明を。

岡本議員 内訳を記入し

てほしい。
町長 聞かれればちゃんと答える。

給料の増減分の説明を

高田議員 給料のところ

で、人事異動に伴う増額分や退職に伴う減額分、また新規採用に伴う増額の説明を求めます。

副町長 町の職員が7月

1日に里見川荘へ移動し、277万8000円の増

額。前施設長の退職で、58万円の6か月分、348万円の減額。新しい施設長分は、100万円の6か月分で、600万円の増額。



里見川荘の敬老会

一般質問

町政を問う

町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

道路廃道の地番が違うが、

訂正が必要ではないか。

町長／議決をしているので訂正はしない。



高田 卓司 議員

してもらい、良い道ができるために努力している。



問 平成20年3月の
議会で、町道路
線の廃止について議案が
出された。

里見11号線大原西地区
の道路起点、終点の地番
が違っている。議会とし
ては正しいものと思ひ議
決した。

①議案書が間違いのま
ま議会で議決したもので
ある。本議会で議案書
の訂正が必要ではないの
か。

②道路の延長が、30・
8 mなのに、現地で測る
と16 mしかない。14・8
mはどこへ消えたのか。
③この問題の道路は7
月に異議が出された途端
急遽払い下げをした。
何かあるのかと疑わざ
るを得ない。

町長 ①地番が違って
いたことはわび
る。そのことよって町
が不利益になることはな

い。議決をしているので、
訂正しない。
②どうして30・8 mと
なっているのかよくわか
らない。
③この問題は、地区で
10年以上抱えている。そ
れで、問題が起きたから
急遽払い下げると言われ
たが、全くそういうこと
はない。
時間をかけて、逆に近
隣の人に話をして了解を



11号線付近

平野 敏弘 議員



町財政の基礎である 基金の運用は慎重に

町長／安全運転で計画的に運用する

問

基金の運用は慎重にしなければならぬ。

町長は、20億円〜25億円ぐらいいったら取り崩しにブレーキをかけると言ったが、それ以上は一切しないと言えるのか、また、その後は積み増しするのか。

町長

平成21年度決算では、基金残高が約33億円で、ピーク18年度の約40億円に比べ、7億円減っている。しかし、22年度決算では、4年ぶりに4000万円程増加している。

基金が標準財政規模(25・7億円)と同じぐらいになったときは、検討、調整が必要と考える。その後、すぐに積み増しを上げていくのは、現実的には難しいと考える。

下水道は接続率の高い地域から

町長／26年からの4期では事業量を半減する方向

問

下水道の現在の接続率、今後の見通しについて、尋ねる。浜中団地、グリーンレスト以外の地域での接続率はどうか。高齢者には負担も重く、接続しない場合もある。今後どのように進めていくのか。若い人が多いところを優先しては。起債が31億円程ある中、これからも毎年2億円程つぎ込んで整備し、それで起債がまた増えて財政を圧迫する、どのように考えるか。

上下水道課長

接続件数は、19年のシミュレーションでは1105件となっていたが、22年度末では1198件となり、8・4%の増加。団地以外の接続率は、22年度末で53・6%。浄化槽の管理費に比べ

町長

4期の認可区域では、事業量を半分にする方向で考えている。下水道使用料はかなり安いので、下水道が整備された後は、早期の接続に協力願いたい。下水道事業は長い将来を見据えた事業。接続率が上がってくる状況を待たねばならないと考える。

里見川荘はまず直営で

町長／病院を指定管理者にすれば運営がうまくいく

問

里見川荘は建設以来黒字を計上しているが、町長は指定管理者制度を導入する方針と聞いた。なぜその必要があるのか。

総務課長

私は直営のほうがいいと思う。町民に十分満足してもらえる行政をすべし。

県の長寿社会課から、原則として施設の従業者によってサービスを提供しなければならぬ、現在の委託方式は適当でない、との指導を受けている。直営では、人材確保の

町長

町は医療や介護のノウハウを持つていない。病院をバックアップとして指定管理者にすれば、教育や運営がうまくいく。直営では、経費や人の問題で、長期的にやっていると考えると考えている。

町の活力維持・向上のために 道路拡幅整備を

農林建設課長／研究、調査をしていきたい

問

建築基準法では、4 m以上の道路に接していないと建築物を建てる事ができない。しかし、法の適用前からあった道路は、2項道路ということで認め、ゆくゆくは敷地後退をさせ4 m以上の道路にしていこうという、長期的な道路の拡幅計画。

当町でも、狭い2項道路に接する多くの家が建てかえられた。しかし、今もなお4 m未満の生活道路が数多く見られ、決して整備が進んでいないと思えない。その理由は何か。

町の活力の維持、向上のためにも、道路の拡幅整備は必要だ。

町としての指針を

きり示し、整備に向けての要綱も整備するべき。他の自治体の要綱を見ると、無償使用のことも定めている。譲るとなれば難しい問題も、クリアできるのでは。

で反映されていないのは、職員数も少なく、勉強ができません。計画的なおろそかになっていった。そういった事業は、有効な方策だと思ふ。研究調査していきたい。

課長

農林建設課長

生活道路の整備は、地区懇談会や分館要望書など、町民の意見を聞き、危険箇所や緊急車両が通れないところの部分的な改修などを行った。今後も、緊急車両が通行できない箇所の拡幅工事などを推進する。

里見229号線整備の目鼻もついてきたので、主要道路の整備計画も検討したい。

敷地後退のことが当町



狭い町道



眞野 博文 議員

町営墓地の建設整備に 一般財源の投入は不公平

町長／10万円/m²を超える場合はやむをえない

問

6月定例会で、町長は、墓地購入者だけの負担で無理な場合は、総事業費の2割までなら町費の投入も考えられる、と答弁した。

今回の事業は、全ての町民を対象にするものではない。そこへ町費を投入するというのはどう考えても不公平。

採算がとれる範囲で、町費を入れずにやって欲しい。

町民

現時点での内容は、4 m²が120区画、5 m²が90区画、6 m²が90区画の合計300区画で、駐車台数23枠、区画内通路は舗装、簡単な休憩施設や植栽の設置のほか、通路幅にも配慮したものとなっている。

経費の削減に努めるが、受益者負担のみで賄うことが困難な場合は、一般財源の負担もある程度必要。

町長

また、1 m²当たり10万円を超えた場合に町費で補てんとすると言っているのか、値段を下げるためなのか。

町民が一番望むことは安いこと。実際に墓地を欲しがっている人が墓地委員会のメンバーに入っていないと、買う人の立場で検討していると言えるのか。

町外の購入希望者にはどうするのか。

町民に迷惑の心配はないところということで県道沿いの保安林を購入した。鋭意努力した結果だ。

できるだけ購入する人の負担で行いたい、1 m²10万円ぐらいを超えた場合は、町費を投入するのはやむを得ない。理解をお願いする。

岡村咲津紀 議員



なぜ指定管理者制度なのか

総務課長／サービス向上が期待できる

問

里庄町介護老人保健施設里見川荘が、現状のままの運営では開設が許可されない、平成25年度末までに指定管理者制度を導入し、国定病院を管理先に指定したい、と町長から説明を受けた。

町の施設だからこそ、町民は安心している。

民間の運営になると経営面が重視され、サービスが低下していくことは目に見えている。

里見川荘が直営ではなぜ無理なのか、指定管理者制度の導入をすることがなぜよいのか、経過とこれからどのように取り組んでいくのか尋ねる。

総務課長

県からの指導に對して改善措置を検討した結果、入所者に負担が少なく、サービスの向上が期待できる指定管理者制度の導入を進めていく方向で考えている。

思春期の子どもへの対応と家族への支援は

教育長／学校と連携し、支援を継続

問

9月より東幼稚園に生活支援員が配置された。なぜ新学期に配置しなかったのか、東西の幼稚園の教育環境は公平なのか。

小・中学校の不登校、登校しぶり等の子供や発達障害の児童・生徒の現

状を尋ねる。またその家族の支援は、どのように取り組んでいるのか。

県の教育長は、地域を挙げて子供を育てる機運を高めてほしいと訴えている。思春期の子供への対応、家族支援の現状と課題、今後必要な取り組みを尋ねる。

教育長

教育環境の違いが生じないように従来から配慮している。東幼稚園で特別に配慮が必要な園児がいたため、生活支援員を配置することにした。

ボランティア養成講座を

健康福祉課長／社協と相談しながら努める

問

岡山県地域支援合い事業としてハード事業のインフラ整備が計画されている。しかし、ソフト面での取り組みも重要。

地域福祉活動を推進するために核となるリーダーの育成、団塊世代の力を活用したボランティア養成講座を開催することは考えていないのか。

健康福祉課長

介護予防事業としてにこへルスアップ教室や元気アップ教室を実施している。21分館でいきいきサロンを開催したり、ご近所

不登校等や発達障害児の子供、家庭への支援について現在の里庄町では心配する状況でない認識している。

思春期にある中学生は、各学年の発達段階に応じて学習を進め、保護者には、啓発や支援を行っている。課題の一つは、価値観が多様化し学校と保護者との思いが一致しないこともある。今後も学校と連携して啓発や支援は継続する。

福祉ネットワークを実施し、地域での見守り活動を行っている。

町では認知症サポート養成講座を開催し、これまで272人が受講した。

今後も社会福祉協議会と相談しながら、ボランティアの育成に努めていきたい。

里見川荘の

管理運営方法の問題点は

町長／直営は無理、指定管理者で



仁科 英磨 議員

問

里見川荘の管理運営について、法的側面から尋ねる。

平成15年の地方自治法改正により、指定管理者制度ができ、今までのようなやり方はできなくな

ったと、説明を受けた。

しかし、従来の管理運営は、公の施設の管理委託ではなく、地方自治法234条の業務の一部委託である。それが今後は認められなくなったとしたら、理由は、地方自治法ではなく、別のところにあるはず。

現在の併任辞令方式は、人材派遣法上も疑問がありそうだ。介護保険法上はどうか、医療法上はどうか。

直営とすることは、何

が問題か。現在の職員を、処遇等は現状のまま、町の嘱託に雇い直すことが考えられるが、町の職員になると、やはり問題も出てくると思う。

町とは別の団体で、しかし町がちゃんと管理運営あるいは監督できる体制が一番いい。

問題点を一つ一つ綿密に見ていく中で、町民に不安のない一番いい運営方法を見出すべきだ。

法令の解釈、運用については、里庄町の実態に合った方法を認めてもらうよう、国や県とよく協議すべき。

今直ちに指定管理者にする結論づけるのではなく、中間的な道を含めてじっくり検討すべき。

開設当初、町職員以外の職員に対する指揮・命令系統を明確にするため、併任辞令を出すことでスタートした。

総務課長

県から、現在の併任辞令発令による委託方式のままでは、今後は許可できないと言われている。

町長 萌生会からの要望や、いろいろな要素を考えた中で、直営は無理だという考えに至った。

町長

今の形の上に、事務長の職員がしている部分を萌生会にお願いする形で、指定管理者の姿になると思う。

①平成20年3月議会で廃道認定された11号線（大原西地区）は、どこからどこまでか。何メートルなのか。

問

②地元関係者から、廃止手続きに問題があり、善処してほしいと陳情があった。添付図面と実際の長さが違う。

町長は、なぜ急いで処分したのか。

③問題が起きる基本は、地籍調査が進んでいないこと。土地の登記がはっきりしない。道路台帳もはつきりしない。

最新の道路台帳をつくるのが大切で、地籍調査の現時点での進捗状況は。

5年くらいで完了できないのか。2班集体を4班にできないか。交付金の大幅な増額を国、県に要望したらどうか。

町長

②地権者に会って事情を説明し、交換して町道がひろくなるのならば、確認している。道路台帳と実際の地番と長さが違うことについては、よく分からない。

国土調査室長

③平成34年度に調査完了を目指している。2班集体で推進していく。

補助対象事業で国から50%、県から25%の補助を受けている。

県知事に直接増額要望する。

町道里見11号線の道路台帳と実際の長さが違うが

町長／よく分からない

農林建設課長

①起点里見28番地2、終点里見387番地で、延長30mである。



ひと休み(本村天満神社)

岡本 雅道 議員



民意や議会の意見を受けとめよ

町長／医療費の対象年齢を中学生まで引き上げる

問

昨年の6月議会で中学生までの医療費無料化を求める請願が採択された。しかし、今年の6月議会で措置しないと報告があった。

請願を受け、1年間検討したのならば、困難とする資料をなぜ、提出しないのか。

また、今年の6月議会で、小・中学校に冷暖房設備の設置を求める意見書が出され、賛成多数で可決された。

請願や発議に対し、法的な拘束力はない。しかし、民意や議会の意見をもっと真摯に受けとめるべき。

町長

医療費を中学生まで引き上げるのと年間、4500万円が必要となる。県の補助金を除くと、町負担が3700万円となる。平成24年度からは、対象年齢を中学生まで引き上げる。



疾走！5人6脚

教育長

冷暖房設置は、多額の設備経費や電気代・維持管理費が必要となるため、設置することは困難である。請願や発議が賛成議決されれば尊重する気持ちはある。

里見川荘の将来は

健康福祉課長／拡充は難しい

問

高齢者率の増加を見据えた里見川荘の運営・拡充・将来をどうするのか。

介護保険制度は、利用者が増えれば、町民負担の保険料が増額される仕組みになっている。

健康福祉課長

現段階で、施設整備は必要ないと考える。施設の内でのトップとなっている。施設の増加や拡充は難しい。

不透明・不公平な採用

町長／できる限り募集

問

職員採用についてたずねる。不透明で不公平な募集なしで、4月に採用した里見川荘の嘱託職員が7月に退職した。

町長

事務長候補を養成するために採用した。退職の理由は、個人的な事で控える。甘さがあつた。

職員の採用目的と職種はなにか、岡山市在住の人を、なぜ採用したのか。嘱託職員の賃金は15〜16万円である。賃金は町長のさじかげんで設定したのか。

賃金は、勝手に決めてはいない。能力や期待度で職員幹部と決めている。3月30万円、賞与1・3か月分時間外30万円を措置していた。事務長候補がいなかったため、現在の職員に事務長としてやってもらう。できるかぎり時間的な条件などが許せば、募集をしていきたい。

総務課長

職務専念業務違反となるおそれはない。館長が不在でも、施設は他の職員で対応できる。消防団も、団長不在でも、副団長等が補佐できる組織構成になっている。

シリーズ いきいき サロン紹介

第18回

グリーンクレスト南分館

代表 萩原 亮一

発足しました！
サロンと名乗るも気恥ずかしく、取り敢えず集って駄べり合いましょうという会です。

住宅団地で定年後に住された方も多く、数年前までは体力的に余裕があり、町内の樹木の剪定や防犯パトロール等で、終始顔を合わせる機会もありました。

しかし最近では、そのような機会も少なく何となく淋しく思っています。

引き金となったのは、分館長に声をかけられ、2月2日「いきいきサロンの研修会」に参加したことです。

老人クラブの会員6人が出席し予備知識のないまま、多くの分館が活発に活動している現状を知

り、我が分館では「無理だろうなあ」というのが参加者の感想でした。

3月の老人クラブの総会で、「交流の場がほしい」という声が多くあり、協議の結果、老人会活動の一環として春夏秋冬各1回と決まりました。

他の地区は女性が主体となり、バラエティーに富んだ運営がされているようです。

当分館の場合、どちらかといえば、男性主体でいま一つ、盛り上がり欠ける難があります。

とにかく発足しました。一人ひとりに声掛けをし多くの輪を広げ、継続していくよう願っています。



《第66号》
平成23年10月31日 発行

発行／岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satoshio.okayama.jp

●あしがき

今年は、東日本大震災や台風の被害が全国で起きました。

大自然の猛威は、私達に計り知れない恐怖をもたらしました。

被災された方々には一日も早い復興を願っています。

私達も、対岸の出来事と考えず、被害に対する備えを怠らず、今こそ地域の団結力が必要だと思っています。

皆様のご意見をお待ちしております。

(小野)

編集委員

委員長：眞野博文 副委員長：小野光三 委員：岡村咲津紀 委員：仁科英磨

